

平成29年度	後期長期研修	校種・領域	中学校第1学年 社会
めざす 児童生徒像	社会や他者との関わりの中で自分の意見をしっかりともち、課題の解決に向かうことができる生徒		
テーマ	思考力・判断力・表現力等を育成する社会科指導の試み		
サブテーマ	自分事として捉える課題設定と対話的な学習の工夫を通して(第1学年)		
概要	本校は意見をまとめることが苦手な生徒が多く、話し合いの内容に深まりがなかった。また、授業においては事象同士の関連や現代社会との関わりを考える指導が不十分であった。そこで、本研究では自分事として捉える課題設定と対話的な学習の工夫を手立てとし、思考力・判断力・表現力等の育成を試みた。課題設定の工夫により学んだことを自分や社会と関連付けて考え、対話的な学習により他者と協働して課題を解決することができた。また、グループで考えを伝え合う中で、自他の意見を発展させ、自分なりの意見を深めていく姿がみられた。		
キーワード	自分事、当事者の立場、現代や自分との関連、対話的な学習		
イメージ図	社会や他者との関わりの中で意見をもち、課題解決に向かう生徒 思考力・判断力・表現力等の育成 自分事として捉える課題設定 歴史の当事者の立場 現代や自分との関連 対話的な学習 発表する場の設定 教材・教具の工夫		
成果	▶ 歴史を社会や自分と関連付け、多様な見方・考え方を働かせながら、対話を通して自他の考えを発展させることができ、思考力・判断力・表現力等を育むことができた。 ▶ 話し合い活動を繰り返し行うことで自発的になり、意欲や協力等の学びに向かう姿勢へとつながった。		